



# 真野小だより

児童数：468名

No. 2

令和3年4月16日発行

学校教育目標『あかるく やさしく たくましく』

## 無言掃除(もくもく掃除)に取り組めます

真野っ子心を育てる3つの約束「あいさつ」「そうじ」「ことばづかい」の「そうじ」について、無言掃除に取り組めます。(子どもたちには「もくもくそうじ」としてしています。) 実は、無言掃除は、長野県での取組が有名です。(最初に取組を始めたのは福井県にある永平寺中学校だと言われています。)

掃除の時間は、口を動かさず、手を動かします。一生懸命になる時、人は無言になります。全力で走っている時、しゃべりながら走りません。大人でも集中して仕事をする時、無言になります。掃除に対して「集中」を求めます。単に「無言で掃除する」ことが目的ではなく、「みんなで使う校舎をきれいにすること」「丁寧に扱うこと」に一人一人が一生けん命になることが目的です。

次に、一生懸命さを褒める機会を作り出し、自己有用感を高めることを目的とします。無言清掃をやり切ることで、子どもたちに達成感や自己肯定感が育ちます。

私たちの生活の中で、当たり前のようにやっていることにもちゃんと意図(意味)があります。そのことについて「なぜだろう」「どうしてするのか」を考える場とします。この1年、ふと立ち止まり、「なぜ?」を考えることを大切にしていきたいと思えます。

奇しくも新型コロナウイルス感染症第4波襲来のこの時期、「無言」であることは、感染症対策にも重要な意味があります。子どもだけに強いるのではなく、大人も同様です。担任は勿論ですが、担任外の教員も掃除の時間は無言掃除に取り組めます。

そもそも、学校教育で掃除を行うのは、そこに教育的意味があるからです。掃除を行う意味は、次のようなことにまとめられると思えます。

### ○ 協調性を養う

時間内に一定の作業を終えるためには、仲間との共同作業が必要になります。この過程で子どもたちは協調性、相手を思いやり、自分を見つける機会になります。

### ○ 働くことの意義を知る

家で掃除をしたことがない子どもも中にはいるかもしれません。金銭的な価値は伴いませんが、「働く」ということを実体験する場となります。

### ○ 公共心を育てる

世の中を見ると、老若男女を問わず公衆道徳がやや欠如している現代です。体験を通して、「公」と「私」について考える機会となります。

### ○ 学校を愛する心を育てる

学校をきれいにする態度を養うことが出来ます。環境を整え、きれいにすると気持ちもスッキリします。そして学校を愛する心が育ちます。

以上に加えて、無言掃除で次の力を培いたいと思えます。

### ○ 我慢する力

集中する時は無言です。無言になることで、一つのことに粘り強く取り組む力を養います。

### ○ 落ち着いて行動できる力

無言になることで、周囲を見渡し、汚れている場所を見つけることで、違いに気付く、周りを見る力を養います。

### ○ 自律に向かう力

周りにとらわれず、自分をコントロールする力を養います。